

お知らせ

遠藤周作文学館100年記念グッズ



【生誕100年記念  
オリジナルフレーム切手A】  
・内容：84円×10枚  
・販売価格：1,400円（税込）



【生誕100年記念  
オリジナルフレーム切手B】  
・内容：84円×5枚、63円×5枚  
・販売価格：1,300円（税込）



遠藤周作生誕100年記念文集  
遠藤周作とのめぐりあい  
遠藤周作文学館編  
800円（税込）



公式ガイドブック：  
2,000円（税込）



ポストカード（3枚1セット）：  
300円（税込）



付箋：200円（税込）



日めくり万年カレンダー：  
1,000円（税込）



トートバック：1,000円（税込）

◆遠藤周作の新刊

◆出版情報（河出書房新社）

◆『沈黙の声 遠藤周作初期エッセイ』

8月22日刊行予定 予価2,420円

◆『アラバスケ 遠藤周作初期エッセイ』

9月20日刊行予定 予価2,420円

◆遠藤周作関連本

◆出版情報（河出書房新社）

◆『遠藤周作と劇団樹座の三十年』

7月25日刊行予定 予価2,420円

◆『遠藤周作 おどけと哀しみ——わが

師・狐狸庵先生との三十年』

（増補・新版）加藤宗哉 著

9月14日刊行予定 予価2,310円

◆『遠藤周作を探し求めて 無名の人

の声を聴く』（仮）今井真理 著

11月20日刊行予定 予価3,080円

※いずれも、年内に刊行が予定されて

います。

『沈黙』の原点とも言える貴重な発掘作品『沈黙の声』、遠藤若き日の習作と、留学時の新発見書簡を公開する『アラバスケ』。

そして関連本では、「周作クラブ」会報の大好評連載単行本化『遠藤周作と劇団樹座の三十年』、遠藤周作の弟子ならではの視点で狐狸庵の素顔を瑞々しく描く『遠藤周作 おどけと哀しみ』、遠藤文学を分かりやすく深く論じ描く『遠藤周作を探し求めて』（巻末に最新遠藤年譜収録）。

お問合せは、河出書房新社編集部、太田美穂まで。 [m-ota@kawade.co.jp](mailto:m-ota@kawade.co.jp)

TEL 03・3404・8611  
FAX 03・3404・1377

✿編集後記✿

▼「遠藤文学原点の旅」が完全復活をしました。今回の旅行のメインイベントは（文学館の展示を見ることを除いては）なんと、いって外海に沈んでゆく夕陽が見られたことに尽きます。東京、他の地方では雨が多かったのに、長崎の外海は一日中見事な快晴で、そのフィナーレを飾るかのような夕陽は余りに美しく、思わず歓声を上げてしまいました。今号特別にカラーで皆様にお届けできてうれしく思います。晴れ男の遠藤先生の面目躍如といったところです。たくさんの方の参加から周作クラブ宛てに礼状のメールをいただきました。また、来年もどこになるかわかりませんが、楽しい旅に出かけましょう。

▼高橋千劍破さんで思い出すのは、私が初めて劇団樹座の舞台に立ったときのこと。千劍破さんは、白鳥の湖のオデット姫の相手役、ジークフリート王子の役で、バレエを踊っていました。背が高く、スタイルも良く、綺麗なお化粧をして黙って立っていたら素敵な王子様でした。踊りさえなさらなければ。

「周作クラブ」第95号

2024年6月発行

■編集人 亀岡 園子

■編集部 一田佳希、大原雄、近藤恭弘、高木香織、清水優子

■発行所 東京都世田谷区上馬4-29-17

加藤宗哉事務所内「周作クラブ」

Eメール [Shusaku\\_club@yahoo.co.jp](mailto:Shusaku_club@yahoo.co.jp)